

名医が選んだ「日本最高の名医」73人リスト

| 専門 | 名前/所在地 | 所属・肩書 | 推薦理由 |
|------|--------|------------------------------------|--|
| 肺がん | 臼井一裕 | 東京 NTT東日本関東病院呼吸器内科部長 | 最新知識をもとにステージⅢ以上の進行肺がん患者の希望に寄り添う丁寧な治療を行っている |
| | 小田誠 | 神奈川県 新百合ヶ丘総合病院・呼吸器外科統括部長(呼吸器センター長) | 痛みの少ない低侵襲手術を目指し、高齢者でも1泊2日の短期入院手術を実現している |
| | 鹿毛秀宣 | 東京 東京大学医学部附属病院呼吸器内科教授 | 肺がんの抗がん剤のスペシャリスト。エビデンスをもとに各科と協力して患者に適した治療を実践 |
| | 鈴木健司 | 東京 順天堂医院呼吸器外科教授 | 肺がん手術のスペシャリスト。肺がんをメスで切り取る高い技術は随一とされる |
| | 中村彰太 | 愛知県 名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科講師 | 呼吸器外科チームが一丸となり治療にあたる。患者にとって最適な医療の提供を目指す |
| 大腸がん | 秋吉高志 | 東京 がん研有明病院大腸外科部長 | 直腸がんの腹腔鏡下手術のエキスパート。手術を振り返り、技術を磨き続ける |
| | 上原圭 | 東京 日本医科大学消化器外科講師 | 根治の難しい進行がんや再発がんの手術を専門とする。「諦めない治療」がモットー |
| | 絹笠祐介 | 東京 東京科学大学病院病院長補佐大腸・肛門外科診療科長 | 直腸がんロボット手術のスペシャリスト。術後の排尿障害発生率3%。肛門温存率は9割 |
| | 野中隆 | 長崎 長崎大学病院腫瘍外科准教授 | 発生率の高い合併症を抑えた大腸がん手術のエキスパート。ロボット手術の技術が高い |
| | 吉野孝之 | 千葉 国立がん研究センター東病院副院長・消化器内科医長 | 22年に世界最大のがんの学会で、治療を最も進化させた世界トップ4の1人に選ばれた |
| 胃がん | 宇山一郎 | 愛知県 藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学講座教授 | 世界初の腹腔鏡の胃全摘術に成功させ、上部消化器ロボット手術の第一人者 |
| | 大森健 | 大阪 大阪けいさつ病院消化器外科主任部長 | ロボット手術の達人。様々な技術を駆使し、術後の生活の質を保つための工夫を徹底する名医 |
| 食道がん | 瀬戸泰之 | 東京 国立がん研究センター中央病院病院長 | 手術支援ロボットのダヴィンチによる世界初の食道がん手術を行なった食道外科の第一人者 |

[総力調査]



実名リスト

「名医が選ぶ名医」全国最高の73人

がん 心筋梗塞 脳梗塞
脊柱管狭窄症 認知症



齊浦明夫医師



上原圭医師



南瀬明宏医師

医療の進歩によって、様々な疾患が、治る病気が、なりつつある。そこで重要になるのが、医師選びだ。知識と経験を併せ持ち、寄り添ってくれる医師は誰なのか。それを最もよく知るのは、臨床の現場に立つ医師にほかならない。「名医が推薦する名医」を一挙公開。

「執刀数」「ロボット手術」から患者に寄り添う「人柄」までこのドクターを頼れ!

「生きるか死ぬか」を担う

本誌は各分野の名医に取材し、「自分や家族を診てもらいたい医師」を聞いた。医師自らが選ぶ「本当に頼れる名医」は誰なのか。診療科ごとに総勢73人を一覧表にした。まずは日進月歩の「がん治療」。自身も放射線治療の権威である東大病院の中川恵一医師に聞いた。

「食道、胃、大腸など消化器がん全般を担当する東大大学院准教授・辻陽介医師を挙げたい。彼の内視鏡による腫瘍切除は最高レベルの技術で、患者さんの痛みも身体への負担も常に最小限。能力、人柄ともに優れ、まだ40代という消化器内科の若きプリンスです。もちろん私の内視鏡検査も担当してもらっています」

呼ばれるすい臓がんのゴッドハンドを挙げた。「数千件を超える圧倒的な執刀数で知られるのが順天堂大学医学部附属順天堂医院・齊浦明夫医師。難しい手術が多く、腕の差が出てしまう領域で執刀数が多いことは、その医師の治療実績に対する信頼の証です」

肝胆膵外科のトップランナーである齊浦医師はこう話す。

「この20年、肝胆膵領域では腹腔鏡やロボットなどの技術的な進化に加え、抗がん剤も進歩し、手術の守備範囲が広がりました。その間、第一線で治療に取り組み、手術を多く任せていただけたことで、すい臓の医師として評価いただいたのだと思います」

医療ガバナンス研究所理事長の上昌広医師は「サイレントキラー」と

そんな齊浦医師は、「大腸がん」の名医を推挙す

| 専門 | 名前/所在地 | 所属・肩書 | 推薦理由 |
|------------------------------------|--|---|--|
| がん | 一般・消化器外科 | 能城浩和 佐賀 佐賀大学医学部一般・消化器外科科学講座教授 | 国産の手術支援ロボットによる「噴門側胃切除」を国内で初めて成功させている |
| | 全般 | 竹中亮介 千葉 国際医療福祉大学成田病院放射線科教授 | 専門はがんの放射線治療。エビデンスに基づき、患者にきめ細やかな治療を行なっている |
| | | 中川恵一 東京 東京大学医学部附属病院放射線科特任教授 | 日本で最も有名な放射線科医の一人で、がん診療のスペシャリスト。緩和ケアにも精通 |
| 心臓 | 阿部亘 福島 わかまつインターベンションクリニック院長 | 心臓カテーテル検査・治療の高い技術で地域医療に貢献し続ける | |
| | 笠原真悟 岡山 岡山大学病院心臓血管外科長・教授 | 小児心臓血管外科分野、複雑心奇形、新生児の手術ではNo.1、国内外から患者が集まる | |
| | 菊池文孝 青森 はちのへハートセンタークリニック院長 | 狭心症、心筋梗塞、不整脈に対するカテーテル治療など職人技で地域医療に貢献し続ける | |
| | 桑原大志 東京 東京ハートリズムクリニック院長 | 心房細動に対する「カテーテルアブレーション手術（焼灼術）」の超スペシャリスト | |
| | 高梨秀一郎 神奈川 川崎幸病院副院長（川崎心臓病センター長・心臓外科主任部長） | 冠動脈バイパス術など若い頃から心臓手術の症例数が圧倒的に多く、実績と経験が豊富 | |
| | 田端実 東京 順天堂医院心臓血管外科教授 | 心臓弁膜症に対して開胸の外科手術だけでなくカテーテル治療も行なうハイブリッド外科医 | |
| | 中村淳 神奈川 川崎幸病院川崎心臓病センター副センター長（循環器内科統括部長） | CTO（慢性完全閉塞）の患者にカテーテルを通して拡張させる技術は国内で第一人 | |
| | 南淵明宏 神奈川 昭和大学横浜市北部病院循環器センター心臓血管外科教授 | 心拍動下冠動脈バイパス手術のバイオニア。日本屈指の心臓外科医として知られる | |
| | 根来伸治 大阪 今里ハートクリニック院長 | 国内外においてカテーテル治療の総数が2万例を超えるスペシャリスト | |
| | 幡芳樹 東京 みなみ野循環器病院長（理事長） | 多摩地区を代表し、地域の心臓病や循環器疾患の診療を中心に地域住民に信頼が厚い | |
| 福嶋五月 大阪 国立循環器病研究センター心臓外科部長 | 移植や再生医療の研究に尽力する一方で、ロボット心臓手術まで手掛けるスペシャリスト | | |
| 山岸俊介 東京 イムス東京葛飾総合病院心臓血管外科医長 | 専門は心臓大血管疾患。TBS系ドラマ「ブラックペアン」シーズン1、2の医学監修を務めた | | |

| 専門 | 名前/所在地 | 所属・肩書 | 推薦理由 |
|----|--------|--|--|
| がん | 消化器がん | 斎藤豊 東京 国立がん研究センター中央病院内視鏡センター長・内視鏡科長 | 内視鏡治療の名医。さらなる低侵襲治療を目指し、新たな診断や治療の開発にも取り組む |
| | 消化器がん | 砂川優 神奈川 聖マリアンナ医科大学病院腫瘍内科部長 | 薬物療法、がんゲノム医療のエキスパート。患者のQOLを重視した治療を行なっている |
| | 消化器がん | 辻陽介 東京 東京大学大学院医学系研究科消化器内科学次世代内視鏡開発講座特任准教授 | 高い内視鏡の技術を活かし、病気の早期発見、確かな診断、低侵襲治療を行なっている |
| | すい臓がん | 井上陽介 東京 がん研有明病院肝胆膵外科副部長 | 難易度の高い手術に粘り強く臨む。ロボット支援下の手術の開発にも力を注ぐ |
| | 肝臓がん | 齋浦明夫 東京 順天堂医院肝胆膵外科教授 | 圧倒的な症例数と繊細な技術は国内トップレベル。最高難度の手術を20年以上行なう |
| | | 椎名秀一朗 東京 順天堂医院消化器内科特任教授 | ラジオ派治療の第一人者。根治不能とされた患者を数多く救う。後進の指導にも尽力する |
| | 前立腺がん | 本田五郎 東京 東京女子医科大学病院肝胆膵外科教授 | 肝胆膵腹腔鏡手術の名医として世界的に知られる。国内外で多くの講演や手術指導を行なう |
| | | 永田政義 東京 順天堂医院泌尿器科准教授 | 豊富な臨床経験を活かし、患者ごとに合わせた総合的なマネージメントを提供する |
| | 婦人科がん | 吉岡邦彦 東京 板橋中央総合病院特任副院長・ロボット手術センター長 | 2006年、泌尿器科で国内初となるダヴィンチ手術を導入したロボット手術のバイオニア |
| | 血液がん | 金尾祐之 東京 がん研有明病院婦人科部長 | 難しい症例だとしても、「命を救う」という強い想いで、諦めず患者のために尽くす |
| | 乳がん | 神田善伸 栃木 自治医科大学内科学講座血液学部門教授 | 血液の病気に関する臨床経験が豊富。研究や、若手医師の育成にも力を注ぐ |
| | 骨・軟部腫瘍 | 上野貴之 東京 がん研有明病院乳腺センター長・乳腺外科部長 | 豊富な臨床経験と知識をもつ。術後のQOLを最大限考慮し、アフターケアも丁寧に行なう |
| | 脊髄がん | 河野博隆 東京 帝京大学医学部附属病院整形外科主任教授 | 骨肉腫などが専門で、特にがんの骨転移診療のトップランナー。治療後の運動器障害に詳しい |
| | 内視鏡検査 | 村上英樹 愛知 名古屋市立大学整形外科主任教授 | 24年7月、下大静脈を合併切除する脊椎がん拡大根治手術を世界で初めて成功させた |
| | | 豊島治 東京 とよしま内視鏡クリニック院長 | 内視鏡検査での病気の発見率を追求。精度が高く、苦痛の少ない検査を提供している |

本誌34ページの巻頭企画にも登場したベストセラー『80歳の壁』の著者・和田秀樹医師は、昭和大学横浜市北部病院・南淵明宏医師（循環器センター心臓血管外科教授）を推す。「狭心症や心筋梗塞の治療で行なわれる心臓バイパス手術で、今では一般的になった「心拍動下冠動脈バイパス手術」の日本におけるバイオニアが南淵先生です。何回か対談をしたことがあります。年々200例の手術を行ない、常に慢心せず自身を律する態度に感銘を受けました」

「日本一の職人だ」

「ダ・ヴィンチ」導入に奔走した渡邊医師は、ロボット支援手術に取り組む心臓外科の名医として国立循環器病研究センター・福嶋五月医師や鳥取大学医学部教授・吉川泰司医師を挙げる。さらに、みなみ野循環器病院長理事

南淵医師に話を聞くと、「日本一の職人だ」と絶賛するのが、東京ハートリズムクリニック（世田谷区）の桑原大志医師。「桑原先生は心房細動に対する『カテーテルアブレーション手術（焼灼術）』の超スペシャリスト。私は『よそでカテーテルを受けたけど治らない！』という患者さんを数多く紹介してきました。彼の手術を金額換算すれば、保険診療の10倍、あるいは30倍に相当すると思えます」

長・幡芳樹医師の「地域密着」の姿勢に敬意を抱いているという。「東京・八王子で多摩地区を代表する循環器病院として、地域住民に信頼されています。お人柄、実力ともに尊敬する先生です」

「地域密着」に敬意

日々、難手術をこなす上原医師が語る。「進行や再発した大腸がんの手術は難度が高く、時間がかかって大がかりです。リスクが高く、良くなるかどうか不明な手術してみないとわからない。それでも覚悟を決めた患者さんに応えるべく、泥くさい手術をやっています」

「ニューハート・ワタナベ国際病院・渡邊剛医師です。ロボット支援下の心臓手術件数世界一で知られる名医です。私は東京医科大学で同期に働いており、渡邊先生の手術を何度も見学し、手術手技の正確性、スピードに感銘を受けました」

「スタンダードな手術をきれいにやってくれる人で、自分より若い先生がいい。がん研有明病院・秋吉高志医師は手術が速く正確で、結果に向き合っていないところを改良していく姿勢も素晴らしい。」

日本医科大学消化器外科・上原圭医師が担当する大腸がん手術は、開けてみないとわからない「生きるか死ぬか」のレベル。ある意味、そこまでの状態にはなりたくないが、いざという時に頼りたい名医です」

| 専門 | 名前/所在地 | 所属・肩書 | 推薦理由 |
|------------------|--------|----------------------------------|---|
| 整形外科 | 仁木久照 | 神奈川県 聖マリアンナ医科大学病院整形外科診療部長 | 専門は足の外科で、診断治療が難しい扁平足の病態に詳しく、専門的な手術を多数執刀 |
| | 野尻英俊 | 東京 順天堂大学医学部附属順天堂医院脊椎脊髄センター副センター長 | 脊椎脊髄に関する疾患でアメリカ式の手術方式による最先端の治療を行なっている |
| | 松田秀一 | 京都 京都大学大学院医学研究科整形外科学教授 | 日本初のコンピュータ・ナビゲーションシステムを使った人工膝関節の手術を行なった |
| | 馬渡太郎 | 福岡 浜の町病院診療部次長・整形外科部長 | 専門は股関節・膝関節外科等。人生100年時代の健康寿命の延伸を考えて診療している |
| | 山本卓明 | 福岡 福岡大学医学部整形外科学教室教授 | 股関節疾患に対する関節温存術など患者の立場に立つて最も適した治療を行なっている |
| 終末期医療・在宅医療・認知症治療 | 朝田隆 | 東京 メモリークリニックお茶の水院長 | 日本初の認知症外来を立ち上げ、認知症の予防・治療の第一人者 |
| | 岩田淳 | 東京 東京都健康長寿医療センター副院長(脳神経内科部長) | 豊富な臨床経験をもつ。アルツハイマー病の根本治療薬の開発にも積極的に取り組む |
| | 奥村歩 | 岐阜 おくむらメモリークリニック院長 | ワンストップで診断から治療まで一貫して認知症を診る。国内随一の受診者数を誇る |
| | 金井良晃 | 埼玉 TMGあさか医療センター副院長・緩和ケアセンター長 | 人柄と実力を兼ね備えた理想の緩和ケア医として、進行がんや終末期の患者を支えている |
| | 神戸泰紀 | 東京 こたまクリニック院長 | 高度な認知症に関する知識・技術で大学で認知症の外来診療、地域では訪問診療を行なう |
| | 木之下徹 | 東京 のぞみメモリークリニック院長 | 全国の誰も手がけていなかった認知症の在宅診療を長年取り組んだ経験と実績が豊富 |
| | 長光勉 | 山口 ながみつクリニック院長 | 国内では数少ないMRIと専門的な神経心理スタッフを配置、診療から治療まで一貫診療 |
| | 松村美由起 | 東京 東京女子医科大学成人医学センター副所長 | 脳神経内科に精通し、専門医でありながら認知症の受診者の目線を大切に真摯に診療に取り組む |
| | 間宮敬子 | 長野 信州大学医学部附属病院信州がんセンター緩和部門教授 | 終末期の疼痛ケアのスペシャリスト。薬剤師など多職種で患者や家族をサポートしている |
| | 山崎英樹 | 宮城 清山会医療福祉グループ代表いずみの杜診療所医師 | 認知症になった本人や家族を含む周囲の人々から深い文脈で話を引き出して聴いてくれる |

※名前は五十音順。がんの「専門」については主な対象部位を記した。推薦理由は取材した医師の回答を基に本誌作成

「骨質」改善のプロ

慢性的な痛みで悩む「脊柱管狭窄症」の名医として多くの医師が挙げたのが、メジャーリーグの吉田正尚の手術も担当した徳島大学病院・西良浩一医師だ。腰の世界名医は誰か。

「京都大学附属病棟の松田秀一医師は、多くの人が悩む変形性膝関節症の人工膝関節置換術で、膝関節の三次元画像を基に極めて精度の高い手術を行なう日本屈指の関節外科医です。

足の外科医なら札幌医大・寺本篤史医師がナンバーワン。舞台医学やダンス医学に造詣が深く、2022年北京冬季五輪などに日本選手団本部ドクターとして帯同されました。

高齢になると骨粗鬆症や骨折のリスクが高まるが、西良医師はその分野の世界的権威として東京慈恵医大・齋藤充医師を挙げる。

「これまで骨密度だけが重視されていた骨粗鬆症に『骨質』が影響することを突き止め、第一人者として、世界一のエビデンスを武器に骨質と骨量をコラーゲンから改善させる治療を行なっています。

「これは骨密度だけが重視されていた骨粗鬆症に『骨質』が影響することを突き止め、第一人者として、世界一のエビデンスを武器に骨質と骨量をコラーゲンから改善させる治療を行なっています。

「認知症や終末期医療に直面した場合、頼りになるのは誰か。

認知症専門医の前出・奥村医師が、「MRIなど最新の機器を装備して診断にあるだけでなく、認知症の方への接し方が、素晴らしい」と推すのは、のぞみメモリークリニック(東京・三鷹市)の木之下徹院長だ。

その木之下医師が「自分が最も受診したい医師」とするのは、清山会医療福祉グループ代表でいずみの杜診療所・山崎英樹医師。

「認知症になった本人や家族を含む周囲の人々から、最も深い文脈で話を引き出し、聴く診療姿勢が魅力的です」(木之下医師)

手術や治療を任せる主治医によってその後の人生が変わることもある。信頼できる医師に出会えるよう、日頃から準備したい。

| 専門 | 名前/所在地 | 所属・肩書 | 推薦理由 |
|------|--------|--------------------------------|--|
| 心臓 | 山本晋 | 神奈川県 川崎幸病院院長 | 大動脈瘤治療など大動脈疾患が専門。同病院の大動脈手術件数は国内最多を誇る |
| | 吉川泰司 | 鳥取 鳥取大学医学部附属病院心臓血管外科教授 | 中国地方唯一のロボット心臓手術実施施設のリーダーとしてロボット心臓手術を手がける |
| | 渡邊剛 | 東京 ニューハート・ワタナベ国際病院総長 | 冠動脈バイパス術など心臓手術件数で世界トップレベルを誇るロボット手術の第一人者 |
| | 出雲剛 | 岐阜 岐阜大学医学部附属病院脳神経外科長・教授 | 脳神経外科でも低侵襲性と根治性の両立できる手術の開発と普及に取り組んでいる |
| | 猪原匡史 | 大阪 国立循環器病研究センター脳神経内科部長 | 脳卒中とともに血管疾患の観点から認知症の治療や臨床研究を国内外でけん引している |
| 脳 | 遠藤英徳 | 宮城 東北大学病院脳神経外科長 | 脳卒中に対する開頭術および血管内治療のエキスパート。多数の執刀例で経験も豊富 |
| | 黒田敏 | 富山 富山大学附属病院脳神経外科診療科長・教授 | 脳卒中に対する開頭術のエキスパート、もやもや卒中に対する研究で世界のリーダー的存在 |
| | 澤村豊 | 北海道 さわむら脳神経クリニック理事長 | 脳腫瘍手術の第一人者。自身のHPで臨床経験に裏打ちされた治療方針決定の判断材料を公開 |
| | 成田善孝 | 東京 国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科長 | グリオーマなど、悪性脳腫瘍治療のエキスパート。機能温存を優先した治療を行なう |
| | 林健太郎 | 鳥根 鳥根大学医学部附属病院高度脳卒中センター長 | 脳血管障害の血管内治療や開頭術に精通する。高度脳卒中センターを立ち上げた経験 |
| 整形外科 | 松丸祐司 | 茨城 筑波大学附属病院脳卒中診療科長 | 脳動脈瘤や頸動脈ステント治療とともに脳及び脊髄の動脈瘤や硬膜動脈瘤の手術も |
| | 齋藤充 | 東京 東京慈恵会医科大学整形外科主任教授・診療部長 | 骨粗鬆症の世界的権威。エビデンスをもとに骨質と骨量をコラーゲンから改善させている |
| | 西良浩一 | 徳島 徳島大学大学院医学研究部運動機能外科学(整形外科)教授 | 腰の世界的名医。局所麻酔下で行なう最少侵襲の脊椎内視鏡手術の新術式を次々に開発 |
| | 高橋淳 | 長野 信州大学医学部附属病院整形外科教授 | 専門は脊椎脊髄外科で、手術支援ロボットで安全・確実に側弯症手術を行なう第一人者 |
| | 寺本篤史 | 北海道 札幌医科大学医学部整形外科学講座教授 | 下肢運動器疾患の治療を行なう日本有数の足の外科医。スポーツ医学にも注力している |

「骨質」改善のプロ

慢性的な痛みで悩む「脊柱管狭窄症」の名医として多くの医師が挙げたのが、メジャーリーグの吉田正尚の手術も担当した徳島大学病院・西良浩一医師だ。腰の世界名医は誰か。

「京都大学附属病棟の松田秀一医師は、多くの人が悩む変形性膝関節症の人工膝関節置換術で、膝関節の三次元画像を基に極めて精度の高い手術を行なう日本屈指の関節外科医です。

足の外科医なら札幌医大・寺本篤史医師がナンバーワン。舞台医学やダンス医学に造詣が深く、2022年北京冬季五輪などに日本選手団本部ドクターとして帯同されました。

高齢になると骨粗鬆症や骨折のリスクが高まるが、西良医師はその分野の世界的権威として東京慈恵医大・齋藤充医師を挙げる。

「これまで骨密度だけが重視されていた骨粗鬆症に『骨質』が影響することを突き止め、第一人者として、世界一のエビデンスを武器に骨質と骨量をコラーゲンから改善させる治療を行なっています。

「これは骨密度だけが重視されていた骨粗鬆症に『骨質』が影響することを突き止め、第一人者として、世界一のエビデンスを武器に骨質と骨量をコラーゲンから改善させる治療を行なっています。

「認知症や終末期医療に直面した場合、頼りになるのは誰か。

認知症専門医の前出・奥村医師が、「MRIなど最新の機器を装備して診断にあるだけでなく、認知症の方への接し方が、素晴らしい」と推すのは、のぞみメモリークリニック(東京・三鷹市)の木之下徹院長だ。

その木之下医師が「自分が最も受診したい医師」とするのは、清山会医療福祉グループ代表でいずみの杜診療所・山崎英樹医師。

「認知症になった本人や家族を含む周囲の人々から、最も深い文脈で話を引き出し、聴く診療姿勢が魅力的です」(木之下医師)

手術や治療を任せる主治医によってその後の人生が変わることもある。信頼できる医師に出会えるよう、日頃から準備したい。

※内頸動脈と呼ばれる脳の太い血管が細くなり、脳に十分な血液を送れなくなるなどする疾患